

市川の空気を調べる会

通信4号 2013年10月24日(木)

発行 市川の空気を調べる会 (代表 鈴木一義)

電話&FAX: 047-373-8369 E-mail: kazu38yoshi@eos.ocn.ne.jp

☆ 2013年6月度 NO₂測定結果の概要

定例測定日の6月6日(木)~7日(金)は、両日ともうす曇りで弱風という測定に適した天候でした。

測定数

市川市内(隣接する松戸市の一部、船橋市本中山を含む): 386件

うち有効測定数: 377件 紛失数: 4件 異常値: 4件 測定ミス: 1件

市外 松戸市 関さんの森: 100件 船橋市海神: 4件 千葉市中央区: 10件

埼玉県松伏町: 1件 市外の測定は全て有効でした。

市川市内測定結果

本年6月度の市内全域と住宅地、沿道地別の平均濃度と測定数を、改良型を用いた過去6年間の6月度の値と共に下表に示します。濃度の推移は折線グラフで下図に示します。

表1 6月度の市内全域と住宅地点、沿道地点のNO₂平均濃度(ppm)と測定数の推移

	年度	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
全地点	平均濃度(ppm)	0.032	0.032	0.026	0.023	0.033	0.021	0.016
	測定数	351	378	356	377	336	378	377
住宅地点	平均濃度(ppm)	0.029	0.027	0.021	0.017	0.028	0.017	0.012
	測定数	283	282	246	247	229	252	249
沿道地点	平均濃度(ppm)	0.045	0.047	0.037	0.035	0.045	0.029	0.024
	測定数	68	96	110	130	107	126	128

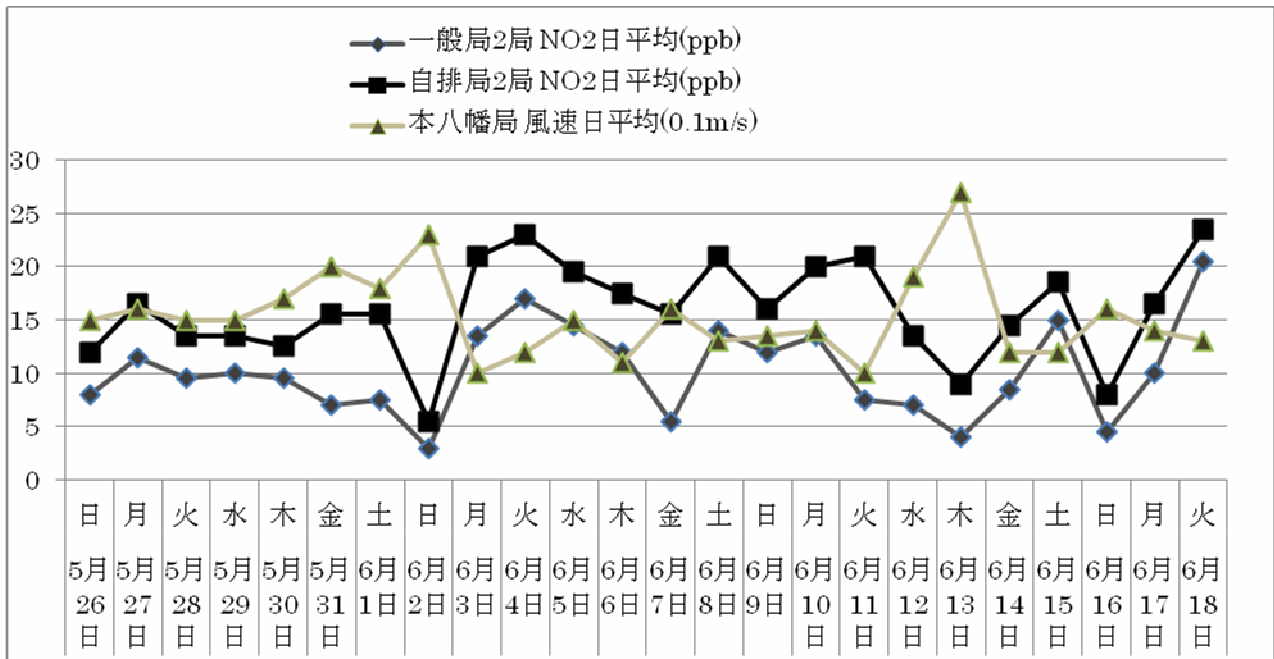
図1 市川市内の6月度NO₂濃度の年度推移

市内測定数はこれまでの6月度とほぼ同数の377カ所でした。

NO₂の平均濃度はこれまでで最も低くなりました。

ここで、次ページのこの時期の市川市測定局のNO₂濃度と風速の変化を示す図2を見てください。

図2 2013年6月度 測定日周辺の市川市測定局 NO₂濃度と風速の変化



測定は6月6日（木）18時から7日（金）18時ですから、24時間のうち18時間という大部分（3/4）は7日に入ります。7日は少し風があり、NO₂濃度は周辺で最も低い日でした。この状況で、私たちの測定値も非常に低くなりました。

それでは実際にNO₂濃度は低下しているのでしょうか。そこで、図3をご覧ください。

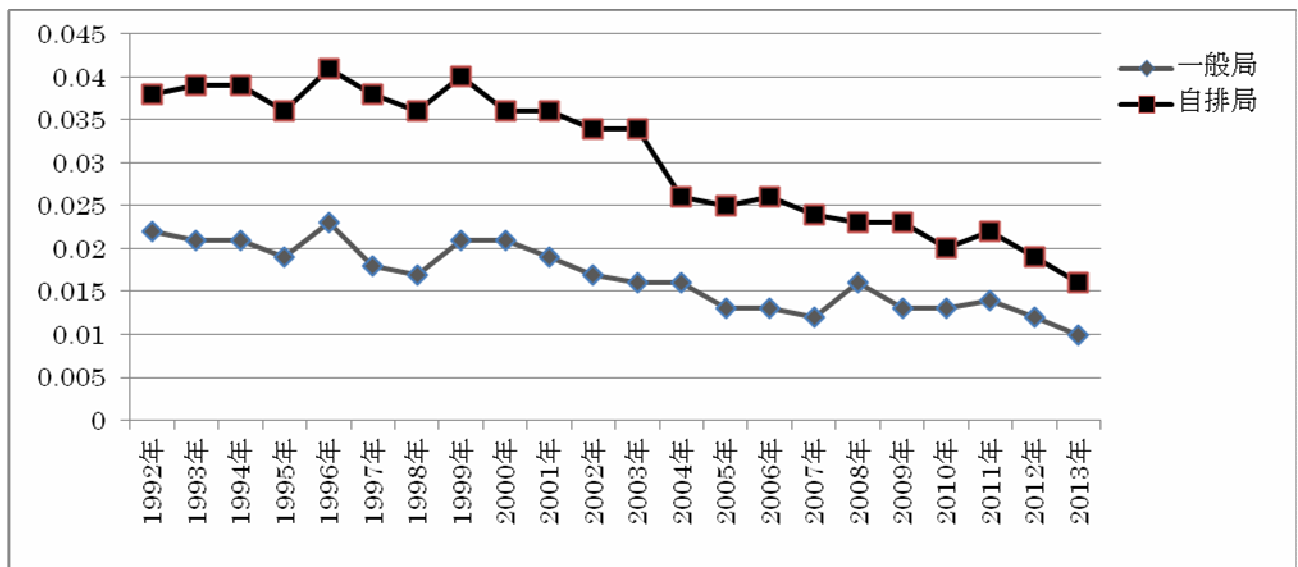
図3 市川市大気汚染測定局の測定値に見る22年間のNO₂濃度(ppm)の変化

（市川市環境保全課提供の測定データをもとに作成）

各年度とも6月度定例測定日を挟む24日間の平均濃度(ppm)

一般局：本八幡局と新田局の平均値

自排局：市川局と行徳局の平均値



これは当会が測定を始めた1992年からの、6月度定例測定日の周辺24日間の、市川市測定局におけるNO₂平均濃度の年度毎の変化を示すグラフです。各点は24日間という長期間の平均濃度なので、その時期のNO₂濃度をほぼ正しく表している見られます。グラフが示すように、2000年頃から住宅地（一般局）も沿道地（自排局）も着実にNO₂濃度が低下してきています。これは車の排気ガス規制や首都圏のディーゼル車の規制強化などによる

ところが大きいと考えられます。

市川市地域別のNO₂濃度

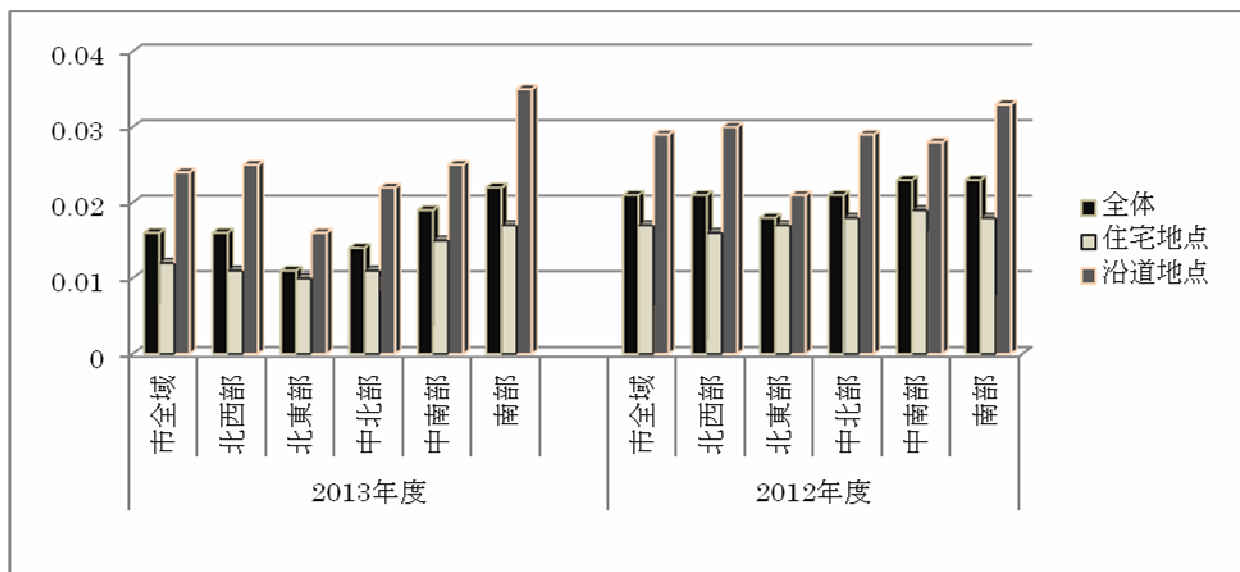
市川市を地理的に5地域に分けて、各地域のNO₂濃度を見てみましょう。

表2に5地域の住宅地点と沿道地点ごとの平均濃度と測定数を示します。図4は各地域の平均濃度を棒グラフで示したもので、2012年6月度も参考例として載せました。

表2 2013年6月度市内地域別NO₂平均濃度(ppm)と測定地点数

		市全域	北西部	北東部	中北部	中南部	南部
全域	平均濃度	0.016	0.016	0.011	0.014	0.019	0.022
	地点数 (割合)	377 (100%)	159 (42%)	43 (11%)	83 (22%)	59 (16%)	33 (9%)
住宅地	平均濃度	0.012	0.011	0.010	0.011	0.015	0.017
	地点数	249	102	30	59	33	25
沿道地	平均濃度	0.024	0.025	0.016	0.022	0.025	0.035
	地点数	128	57	13	24	26	8

図4 2013年6月度市川市内地域別NO₂濃度 (2012年6月度も併記)



北西部（北国分、中国分、国府台、国分、曾谷等）は、松戸街道に外環道国道部分が接続され、大型車が多数通るため沿道部の濃度は高いですが、2車線なので台数は抑えられ住宅地はそれ程高くなっていません。**北東部**（大町、大野、東大野、下貝塚、柏井等）は、大型道路は旧市松有料道（松戸原木線）ぐらいで、常に沿道地、住宅地とも最も低濃度となっています。**中北部**（JR線以北で真間、須和田、宮久保、北方以南）は主に14号線と市川柏線が走るが、沿道部は北西部より少し低く、住宅地はほぼ同等となっています。一方**中南部**（JR線以南、江戸川以北）は、京葉道路、産業道路が走り、沿道部は北西部と同等ですが、住宅地は大型道の影響で北西部より高くなっています。江戸川以南の**南部**は、三方を海、川に囲まれていながら、一日9万台もの車が走る湾岸道路の影響で、沿道部だけでなく住宅地も他地域より高濃度となっています。現在建設中の東京外環道路は湾岸道路と同等の交通量が見込まれており、これによる広範な大気汚染が危惧されます。

☆ 松戸市 関さんの森からの報告

～道路開通から一年、道路がもたらした大気汚染～

関さんの森を通過する新設道路が開通して一年経ちました。道路開通前は森の中が周辺と比べ常にもっとも低いNO₂濃度でした。しかし開通間もない昨年12月の測定では、もう森と周辺との差はなくなりました。この6月の測定では、測定日の風の強さなどの影響で、調査した全地域でいつにない低い数値となっています。

森および森周辺のこれまでの大気汚染の数値が明らかになってきています。NO₂濃度の数値は環境省の決めた環境基準0.06ppmを超えてはいませんが、これまで清々しかった森の中の空気も、時に排気ガスの匂いがして、環境が変わりました。このNO₂の環境基準値は国道6号線の交通量の多い交差点付近でときどき見られるくらいの、ひどい汚染状態の値です。松戸市の環境保全課に聞くと、環八や環七の道路公害訴訟の争いがあった頃の数値がまだ使われているとのこと、ひどい話です。行政はこのようなひどい大気汚染になってはじめて、対策を考えるとっています。事実上何もやる気なし。

交通量規制やスピード規制をかけるためには、大変な活動が必要だと思われます。

(関さんの森を育む会 武笠)

☆ 2013年12月度測定のお知らせ

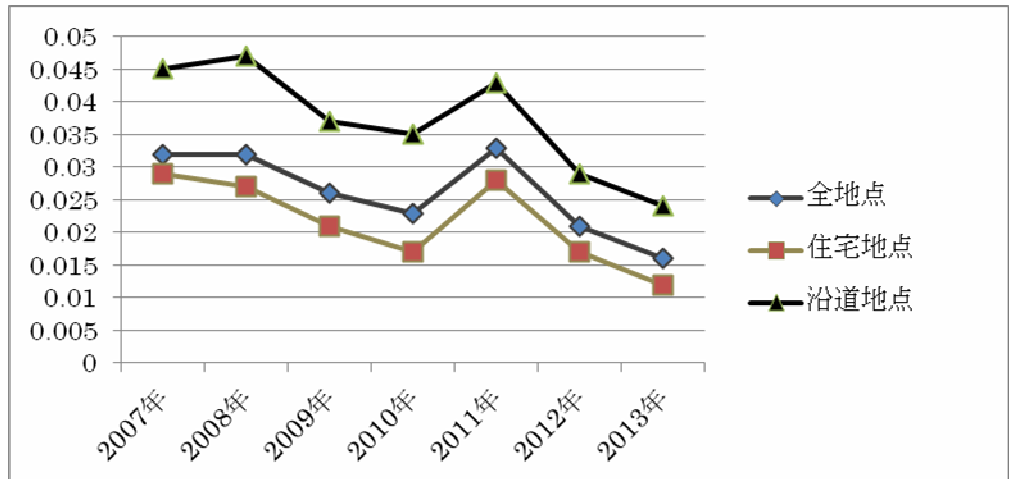
12月度の測定をお知らせする時期となりました。測定の主な作業日程は次の通りです。

- カプセル作りとお渡し：11月24日(日)9時30分～17時 西部公民館工芸室
- 測定：12月6日(木)16時～7日(金)16時
- カプセル分析：12月21日(土)9時30分～17時 西部公民館工芸室

測定時間は、暗くなるのが早いので昨年同様16時に早めました。測定日時は原則として守っていただきたいのですが、カプセル取付け時の降雨は取付けを難しくします。そこで測定者のご判断で、このような時は日時を前後してください(特に緊急の通知は出しません)。そして記録カードに日時を明記して下さい。定例日の測定でも念のため日時に丸を付けて下さい。そして出来れば日曜日には掛からないようにお願いします。日の暮れが早くまた寒いので、どうぞご無理をなさらず、くれぐれもお気をつけてお願いいたします。

あとがき

本号の記事にありますように、車排気ガスのNO₂濃度は着実に下がってきているようです。しかし車交通は本来その道路周辺の住民の犠牲の上に成り立っていることを忘れるわけにはいきません。身近では外環道を部分接続された松戸街道の沿道、そして本号の関さんの森や現在建設中の外環道があります。外環道は車の大河が街中を通ることになりますが、いま街の分断が目なりに起こり、自治会等も一部動いているようです。時期は遅いですが、将来のために地元で頑張りを目指したいです。車交通の増大は人間社会に優しくなく、将来的には公共交通に向かうべきと考えますが、現政府にそのような方向性が見えず残念なことです。



市川の空気を調べる会 事務局 秋元久枝 電話&FAX:047-373-1971
 〒272-0827 市川市国府台3-8-4